

時代はテクノロジー。世界はデジタルとアナログをフュージョンさせて勝負！

今、世界では・・・アメリカの多くの高等教育機関では「基礎的な学習は動画で学んで来て、より複雑な演習を教室で」と学び方が進化しています。日本でも司法試験対策、官僚の登竜門である国家1種試験対策は「答練は教室で、基礎知識はipod」の時代に。世界中、出来る人ほど時間を有効に使っているのです！

福岡チャータースクールでは・・・一昨年、昨年（2月コース、3月コース）高校数学準備（予習）講座を開催し、その内容をネット上にアップしました。一昨年は手探りでしたが、昨年は事前に一昨年の動画を見て授業に臨む会員もいましたので、理解が進んでいた参加者には、課題の演習に取り組んでもらいました。

動画視聴者の理解度は・・・動画はネット環境が許されれば、いつでも、どこでも学ぶ事ができ、時間がなければ途中で止め、あとで続きを見る事ができるので「便利だ」「重宝した」との事でした。肝心の理解度は「見るだけでは解けないが、教室での演習で解けるようになった」「教室（は2度目なの）で理解が深まった」との事。映像だけでのその限界も感じました。

教室での授業の意義・・・今、首都圏では、現役高校生で最も通っている予備校は「映像系」との調査結果が出ています。そこで敢えて教室の授業を行うのは、先に挙げた不理解の補完もありますが、先生の話聞き、尋ねる能力を養成する事も目的とします。人に質問するのは、他人からその発言内容が認められるくらいの中身がないとできません（またやってる。うざい。とならないように）。出来る人の集団で、他人との差がつくのは、先生に尋ねる力なのです。

試験結果は・・・高校数学準備（予習）講座をやって昨年で20年（数学教室）近くなるのですが、2月、3月から先取りをしても高校でついていけない子は残念ながらいましたが（よく合格させたなぁと感心する）、動画を導入し、中学時代のままの得点（9割～満点）を維持する者が明らかに多く出るようになりました（中途入会者は除く）。

超上位層の誕生・・・それよりも、極少数ですが、既に「中学時代から動画を見てきた」という新入生は凄いい成績を取ってきています（すでに高1なのに受験できる



福岡チャータースクール
092 (845) 9981
〒814-0011 福岡県福岡市早良区高取2-17-38

状態に仕上がっています！）。この動画での事前予習＋適切な教室演習は超上位層にはかなり有効であり、アメリカの高等教育機関の導入根拠を裏付けるものです。

今年のメニューは・・・2/2から始まるFコースと公立入試終了週の3/16に始まるUコースがあります。毎週土曜日夜、90分間の授業です。二次関数の導入を中学生にも分かるように教え、高校が指定、購入する教材を解いていきます（教材を購入するまでの間は当方問題を準備します）。

Fコース・・・2/2から3/30まで、初回の仮受講（無料体験）1回＋8回＝計9回の授業を行います。三角比3回。二次関数6回。超難関私立高校の予習には十分な範囲、内容を網羅しているでしょう。3月で終了なのは県外の高校に進学する方への配慮です。私立専願組はこちらのコースで本試を受けるつもりで受講するといいでしょ。標準的な中高一貫中学2年生も中学受験時の自分を思い出して受講してください（公立推薦組は2/23から参加できるよう配慮済みです）。

Uコース・・・3/16から4/27まで、初回の仮受講（無料体験）1回＋6回＝計7回の授業を行います。二次関数6回。補講1回。学校で渡される教材の四分の1を解くつもりです。不安は問題を解く事で一掃されるものです。よく動画を見て授業に参加するといいでしょ。3/19の合格発表前から開講する意図は、落ちても、合格っても、落ち込まず、天狗にならず、新たな目標に取り組むきっかけをつくるためです。

最後に・・・自分はその人みたいにできない。かなわない。そう思うのは自由です。しかし、自分にいったん線を引くと一生越えられなくなります（塾のクラス分けと同じ原理）。

お金、時間、努力を費やし、ここまで来たのですから、この勢いで高校数学を学び、一線を越えてみませんか？